

知っていますか？ 受験者の本当の日本語能力を！！

受験者の日本語能力に、完全に惑わされる日本人職員が、いかに多いか？！

- ※ E P A看護師・介護士候補者受け入れ制度が始まり、今年で10年間経った。しかし、受け入れ側の人材不足は、ますます深刻な問題となっているのが実態だ。
- ※ 即ち、国家試験合格者が少なく、そして、合格できても受け入れ側に定着できていないことが、最大の原因だ。これを解消できない限り、経営的にも困難が生じる。

- ※ 人材確保を確実に達成するためには、受け入れ側が受験者の客観的な「評価基準」を持つ必要がある。
- ※ 最大の問題は、根拠もないままに「日本語は大丈夫」と、自己評価していることだ。その結果、入職1年目で確立しなければならない日本語能力を、計画性のない対応ですませてしまっているからだ。

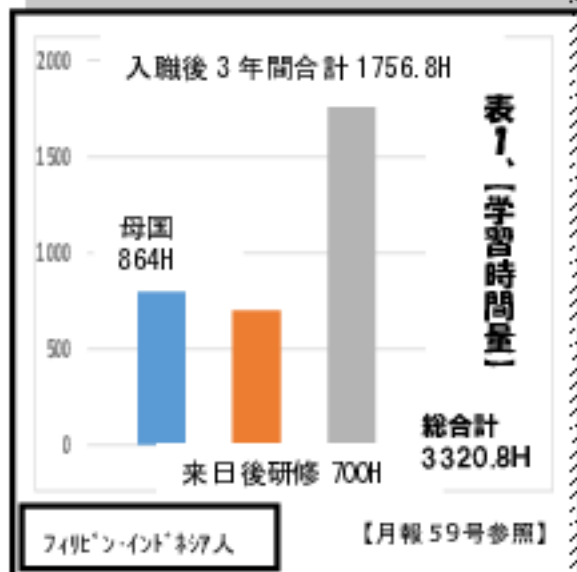
その1、【母国での「日本語学習時間量」を、知っていますか？！】

1. 母国での「学習実態」を知っていますか？

- 母国の学習では「構文能力」を養う学習はない。その根拠として、教材は対訳式の「みんなの日本語」を使用していることで分かる。この教材の特徴は、会話力（音声言語）を養う目的の教材だ。学習の結果、フレーズでの会話練習をするため、最低限の会話力は養われている。
- しかし、試験はマークシート式のために、文字の習得率は必然的に低くなる。さらに、授業は母国人教師が一方的に教える方法のために、受験者は対訳で、暗記する学習となっている。

2. 母国での「学習時間量」を知っていますか？

- 表1に表している通り、フィリピン・インドネシア人の学習期間は6カ月間の集中教育で、「学習時間量」は、864時間だ。この「学習時間量」を考えると、日本人が中学校で受けた外国語（英語）の総合学習時間量は、420時間（学習指導要領）を上回る。中学校卒の英語力は、「基礎的な読み書き能力」ができ、簡単な会話力は身につけている。
- それに反して、入職時受験者の日本語能力は、「意思疎通ができない」等の問題が生じるほど、低い日本語能力しか身につけていないのが実態だ。この原因は、母国での教育の質の悪さを表している。また、十分な日本語力がない現地人と、専門家でない日本人が教育していることに、根本的な問題がある。



- ベトナム人は1年間の集中教育で、1680時間の学習を受けている。この点を見れば、ベトナム人が一番、日本語力を身につけてなければいけない。だが、入職時のベトナム人の日本語能力は、他の国の受験者とは、ほとんど変わらないことが特徴だ。

その2、【来日直後の「集中研修内容」を、知っていますか？！】

1. 研修の「学習形態」を知っていますか？

- 「学習形態」は、基本的に「集合対面指導型」の形態だ。それは、日本語教師一人が対訳を混じえながら、同国人30名以上のクラスで指導する方法だ。
- 日本語教師は、基本的に言葉の説明をすることが中心で、その説明方法は、日本人に対して説明する方法とさして変わらない。そして、受験者が聞き取れなく、理解できなくても、一方的に進めていく授業形態だ。即ち、ワンウェイ教育と言われる方法だ。
- 例え受験者に疑問があつとしても、質問をする日本語力がないために、一方的に受け身となり、聞くだけの姿勢となる。さらに、同国人だけのクラスのため、授業中に受験者間で母語を使って話をする事が多く発生する。その結果、教育効果が落ちる。即ち、母国での教育の質とは何ら変わらない。

2. 客観的な「日本語の到達度」を知っていますか？

- 集中研修の日本語能力到達度を、実施機関が受け入れ側に、「客観的な数値」で言語能力を評価するものは、今まで一つなかった。
- 受け入れ側は、実施されたテスト結果をもって、日本語能力と判断しているために、入職直後に、期待とはかけ離れて、大きな違和感が生じている。その原因の一つは、簡単なフレーズ会話を「日本語能力」と、勘違いをしてしまうことにある。
- テスト内容は、「構文能力」を見るものは実施していない。その理由には、「構文能力」を判断するためには、言語教育の専門家が必要だ。しかし、実施機関の日本語教師のレベルでは、問題作成をすることも、採点をすることも出来ないからだ。

、受験者にも渡して、「読み聞かせ」をして下さい、

その 3、【入職後の「日本語学習時間量」を、知っていますか？！】

1、客観的に把握していない受け入れ施設・病院の姿勢

- 「日本語学習時間量」に関して、ほとんど受け入れ側は意識しておらず、業務シフトを組むことに関心が偏っている。弊社の聞き取り調査結果では、客観的な「学習時間量」を把握しないままに、他人任せの姿勢が濃厚にあることが判明した。
- 表 2 は、事業団指定の目標数と、弊社が行っている到達度試験参加学習時間を、三年間で比較したものだ。その結果、事業団指定は 2304 時間で、それに比べて到達度試験参加学習時間は、864 時間であり、事業団指定数の約 1/3 にしか過ぎない。しかし、教育効果は表 3 の通り、「合格率で明らかにその差が出ている」ことに、注目するべきだ。

2、学習時間が多ければ、教育効果があると勘違い

- 表 2 の通り、A と B の学習時間量の差は、1,440 時間が生じている。1,440 時間を 1 日 8 時間労働として計算すると、180 日間にもなる。
- 即ち、3 年間で受験者は、有給の学習日を 180 日も取っていることとなる。これは、日本人職員からすれば、異常な数値だと思われるも仕方がない。これこそ、日本人職員に対する逆差別と言える。

- 介護分野の受験者は、3 年間で 2,304 時間も学習しているのに、教育効果は決して高くない。その証拠に、表 3 で表している通り、例年の合格率は約 50% にしか過ぎないことで分かる。
- 専門家であれば、常識的な考えとして、次のように対応する。それは、【短時間で効果的な学び方を教える】ことを目的にする。その違いが表 3 の「合格率の差」を産みだしているものと言える。

表 2、 学習時間数の比較

	A、事業団 学習時間	B、到達度試験 参加学習時間
一年目	週 8 時間× 4 週間×12 カ月間 384 時間	週 3 時間× 4 週間×12 カ月間 144 時間
二年目	768 時間	288 時間
三年目	1,152 時間	432 時間
合計	2,304 時間	864 時間
※ A - B = 1,440 時間（学習時間量の差）		

その 4、【指針と到達度試験との「教育効果の差」を、知っていますか？！】

合格後、即戦力にするためには、180 日間を活用

- 表 2 の「学習時間数の比較」と、表 3 の「学習時間と合格率の比較」を考えれば、受け入れ側の現時点の考え方を考える必要がある。なぜならば、人材不足は火急の経営問題として、一年ごとに巨大化しているからだ。日本の現状として、日本人の介護・看護分野での求人は、全国的に例外なく、「人材不足の嵐が来襲」している実態を、冷静に診るべきだ。
- この点から、EPA の人材は受け入れ側の経営に大きな影響を与えざるを得ない。即ち、受験者を間違いなく戦力に加えるためには、「教育効果の差」を認識した上で対処すべきだ。

表 3、 学習時間と合格率の比較

	A、事業団 学習時間	B、到達度試験 参加学習時間
合計 学習時間量	2,304 時間	864 時間
A と B の差	1,440 時間	0 時間
勤務日数換算	180 日間	就労できる
合格率	約 50%	80% 以上
※ 180 日間の就労で、実践業務力が養われる		

その 5、【知っていますか？「受験能力と合格能力」の違いを！】

1、「受験能力」は当然、誰にでもある

- 国家試験は構文式ではなく、マークシート式であるために、外国人の受験者にとっては、ある程度の「読解力」があれば、番号選びだけなので、誰でも受験することができる。
- 国家試験問題は、技術領域などは設問文があり、単文の選択文が平均して 5 文ある中から、正解を 1 文選ぶ方式だ。即ち、20% の正解率があることになるので、誰にでも解答が可能だ。
- しかしながら、情景設定文があり、そして、問題ごとに質問文があり、選択文 5 問の中から、正解文を選ぶことは、日本語力が十分にない限り、難しい問題作成となっている。これが、日本語力が問われる最大の領域と言われるゆえんだ。

2、「合格能力」は、日本語能力がなければできない

- 間違いなく合格するためには、試験問題の「読解能力」だけでなく、特に、「情景問題文」と「質問文」と「選択文」の文脈を理解する「文脈読解能力」がなければ、正解文を選べないように作られている。
- 「文脈読解能力」の基本は、「構文理解力」が基となっていることを知らない指導者がほとんどだ。しかし、言語の専門家以外は、この点について無知で「受験対策学習」を過去問中心に、盲目的に数をこなすやり方で指導している結果が、低い合格率として表れていることを知らなければいけない。
- 「合格能力」は、当然「構文力」がなければ、即戦力のある人材にならない。ともすれば、「合格できたが、文が書けないので、使えない」こととなる。

受験者にも決して、「読み聞かせ」をして下さい、

国家試験合格の鍵は、これだった！！

緊張したけど、約90%で合格！！

- 入職してすぐに、到達度試験に参加した。
1年目は、「100万人の日本語」教材を使って、日本語学習だけを中心にしてきた。教材は一人で勉強できるように作られていたから、自分だけでもできた。テキストを読むだけで、「漢字」や「書く力」が自然と身につく、日本語が理解できるようになった。スカイプ授業では、先生に分からないことを質問してそれに関する会話ができたので、対応力も身につけて、利用者さんとも、積極的に話ができるようになった。
- 二年目、三年目で、介護参考書と過去問題集を使って、国家試験対策の勉強をした。
スカイプ授業では、4文字熟語以上の読解方法を勉強したので、これが試験問題を解く時の力となった。その上で、「キーワード」の選び出し方を勉強した。その結果、漢字が読めるし、理解できるので、専門用語が分かり、国家試験問題も解けるようになった。もし、分からない言葉があると、日本人が使う辞書を使って調べたので、日本語を日本語で考えることができるようになった。
- 本番の試験では、振り仮名なしの試験問題を選んで解いた。振り仮名があると読みにくく、時間がかかる。試験は、とても緊張して、途中で実力が出せなかったけれど、問題は理解できたので、時間内に全て答えを選ぶことができた。特に、難しいと言われていた日本事情・法律問題も、問題なく答えを文脈で見つけ出すことができた。全員、合格して良かった。指導してくれた先生たちに感謝している。
(静岡県・A施設)

情景設定問題が一番解けた！！

- 入職してすぐに、到達度試験に参加した。
母国と集中研修の勉強は、頭の中が整理できずに、正しい日本語を使えなかった。しかし、「100万人の日本語」教材を使って日本語学習をした結果、研修の時に使っていた教材とは違って日本語が分かり易く、自分一人でも勉強ができ、自然と正しい日本語ができるようになった。使わないと会話が上手にならないので、業務では患者さんとたくさん話すようにした。
- 国家試験問題には、漢字が沢山出てくるけれど、スカイプ授業で、漢字が読めなくても意味が分かるようにする勉強をした。それは、熟語漢字を分解したり、一つの漢字から類推して増幅させる方法を勉強した。その結果、専門用語の漢字の意味も分かるようになったので、過去問題や専門書が自分で読めるようになった。
- 本番の試験では、振り仮名がない試験問題の方が読めた。時々、読みが分からない漢字があったけれど、質問文で何を聞きたいかは理解できたので、問題なく解くことができた。試験時間は30分間余ったので、先生が教えてくれたように、後ろの問題から読んで見直しをすることができた。「情景設定問題」が一番点数が高く、一般問題の方が難しかった。「情景設定問題」が一番解けなかったのに、スカイプ授業で、質問文を読んで、キーワードを探す練習をした結果、解けるようになった。これを自分で復習したので、先生のおかげで解けるようになったと思う。
(高知県・N病院)

学習の仕方アドバイス 日本学習は、「早く・楽しく・分かり易く」で指導！！

- ★【受験者の声】を読めば、「三か年学習計画」の重要性がよく分かります。
特に入職直後から到達度試験に参加した受験者は、ほとんど日本人と同等の受験能力と言語能力を身につけていることが分かります。
- ★到達度試験に参加する時期は、「二年目・三年目・足切り」であっても参加できますが、遅くなればなるほど、【受験対応能力・合格能力】が薄くなります。
- ★「三か年学習計画」を持つか持たないかで、人材育成が決定されます。是非、ご参加ください。

何とか合格したい！！

- 「10分間テスト」を受けたことがきっかけで、日本語能力の重要性を確信して、2年目の後半から到達度試験に参加した。参加してすぐに、受験者の会話と日本語文の書き方に変化が見られた。一番の変化は、自分から積極的に日本語の勉強をし始めたことだ。
- まずは、足切でもいいから全員残れるように4月から受験対策に取り組んでいく。
(岡山県・U施設)

日本語学習を毎日2時間、職員が大変！！

- 日本語教師が月に2回指導をしているが、先生の日本語が早口で分からず、職員に質問してやる状態だ。その先生の指示で、職員も毎日2時間、学習指導をしている。
- 自分の仕事があるので、毎日2時は非常に負担がかかる。やったらやっただけ変化が見られれば良いが、約3か月間経っても、変化を感じることができない。だから、4月から到達度試験に参加したい。
(愛知県・T施設)

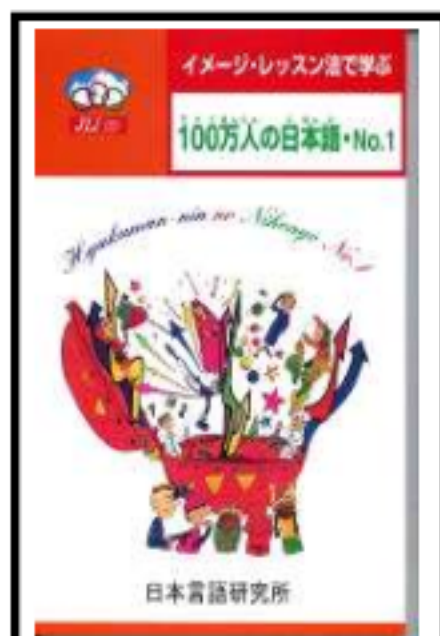
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性」と「用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

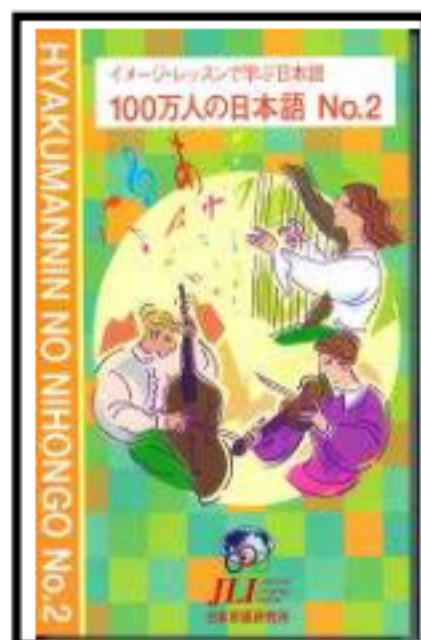
EPA学習支援
スカイプ・電話の両方で指導
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

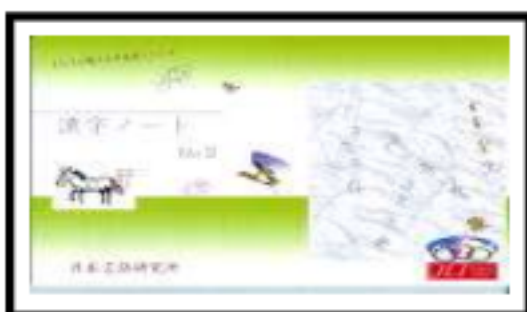


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		